

# これからの保健師活動に求められること

全国保健師長会

会長 松本 珠実

(大阪市健康局健康推進部・保健主幹)

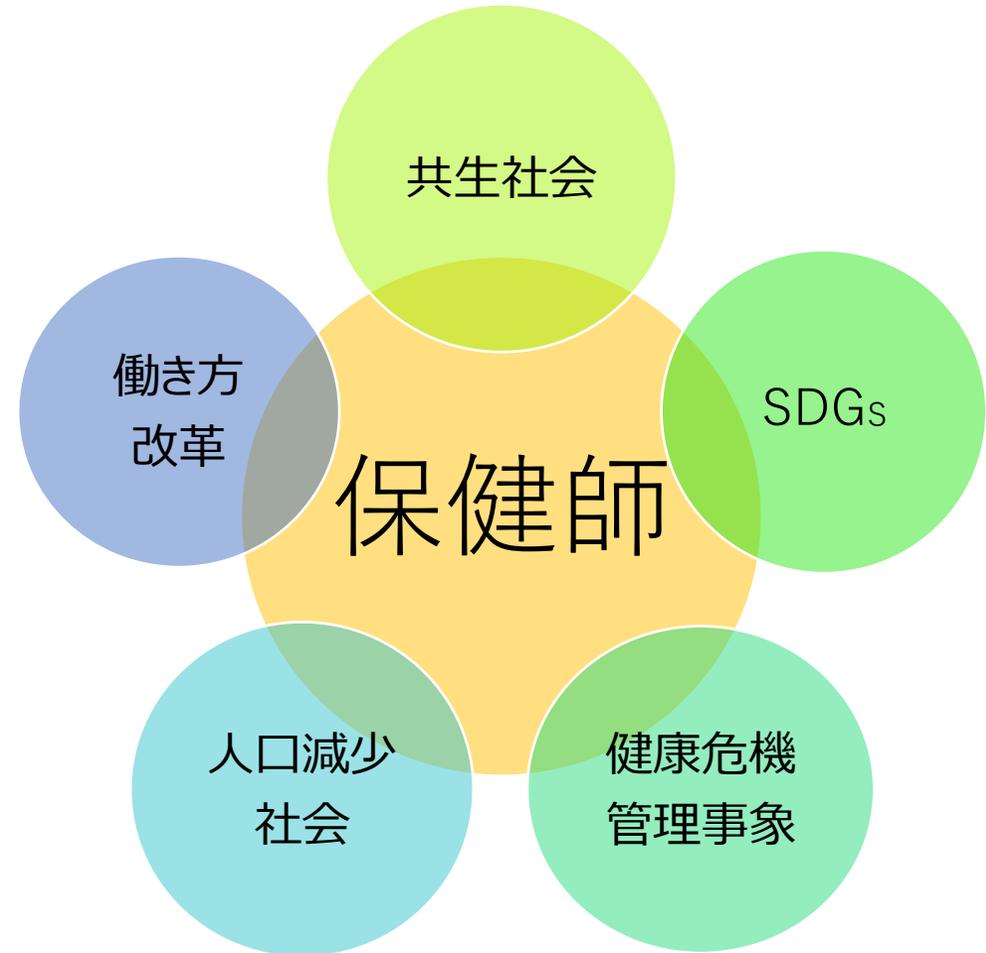


# 本日の内容

- 保健師を取り巻く状況について
- 保健師活動において変わるもの変わらないもの
- 保健師のリーダーとして、今なすべきこと

# 保健師を取り巻く状況について

- 重層的な地域保健体制のゆらぎ
- 複雑系問題の増加
- 新型コロナウイルス感染症の影響
- 地域における専門職としての問い直し
- 健康危機管理事象における対応力
- 保健師の世代交代



# 保健師活動において変わるもの変わらないもの

## 変わらないもの

- 地域の中で活動する
- みる・つなぐ・動かす
- 個人・地域のエンパワメント
- PDCAサイクルに基づく活動展開
- 地域ケアシステムの構築

## 変わるもの

- 潜在化している健康課題にフォーカスする
- 先見性（予測・予見）に基づく活動
- 活動の見える化  
(NDBの活用・ICT化・ナラティブデータ)
- 戦略と戦術に基づく活動展開
- クリティカルシンキング
- チャレンジと撤退を恐れない風土
- 健康危機管理事象への備えと対応力強化
- リーダーシップとマネジメント機能の発揮

# 保健師のリーダーとして、今なすべきこと

- 新型コロナウイルス感染症の経験を暗黙知から形式知化する
- 保健師の強み、保健師の価値を捉えなおす
- 現状を多角的に分析し、組織としてのミッション、ビジョン、バリューを明確化する
- 地域住民やステークホルダーに対して、保健師活動を見せるための戦略と戦術を考える
- 地域共生社会における保健師の価値を高める
- 経験学習理論に基づく人材育成を推進する
- 過去に捕らわれない新しいチャレンジを推奨する



令和5年度全国保健師長会活動テーマ（案）

## 変わりゆく地域の健康課題に対峙する公衆衛生看護活動の展開

～「誰ひとり取り残されない」保健師活動の転換期を仲間とともに乗り越える～

- 地域住民のヘルスリテラシーを高めて健康を取り戻す活動やヘルスプロモーションの理念に基づいた健康づくり、潜在化した健康問題に対する粘り強く継続した個別支援、つながりづくりなどを重視しながら、未来につながる健康なまちづくりを創造し、展開していく必要がある。
- 健康危機管理事象への対応として、感染症対策に従事できる保健師が求められる中で、経験の浅い保健師の増加や中堅期保健師の減少などによって、OJTやジョブローテーションについても、これまでのやり方を転換させるべき時代が到来している。
- 地域で活躍する専門職が増える中において、保健師としてのアイデンティティの獲得、公衆衛生看護技術の段階的な獲得や、共に育ちあえる職場風土づくりなどとともに、暗黙知を形式知化し、定着させるための現任教育の充実が不可欠。
- これらの課題に対して、全国保健師長会では、時代の要請に応える保健師活動を追及し、効果的な保健師の人材育成とそれを支える体制の強化、健康格差の解消を目指した保健師活動の推進、新たな手法による保健師活動の横展開などを図っていく。